



# 「読まれるチラシはこう作る！」講座

9月1日、長野市ふれあい福祉センターで、「読まれるチラシはこう作る！」講座を開催しました。集まった受講者は定員を超える35人。チラシ作りに悩む方は大勢いらっしやると実感。講師は、広報アドバイザーで、ボランティアセンターの運営委員でもある岡村好子さんです。



岡村さんの、経験豊富なお話が満載！聞き逃せない情報がいっぱいでした！

まず最初に、自分が思う「読みやすい」チラシと「読みにくい」チラシについて、グループ内で意見を出し合い発表しました。話し合いは、時間が足りなくなるほど盛り上がっていました。たくさんの気づきがあり、「どうしたら読まれるのか、皆さんはすでに気づいています。」と、岡村さんの具体的でわかりやすい講義が始まりました。



## ★読みやすいチラシの理由(意見一例)★

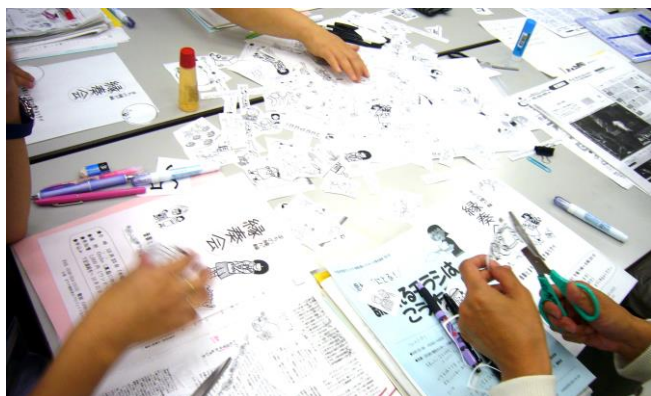
- ・目的・タイトルと内容がはっきりしている
- ・メリハリがある
- ・余白があったり、バランスがいい

## ★読みにくいチラシの理由(意見一例)★

- ・ごちゃごちゃしている
- ・メインの情報が何かわからない
- ・統一感がない



講義の後、見本のチラシを「読みやすく」する個人ワーク。罫線を消したり、イラストを加えて、「どうしたら読む人にわかりやすいか、読む気になってくれるか」を丁寧に考えながら作業をしました。「読む人に気を遣う」、「伝えたいポイントはどこ？」など、今までとは違う視点で取り組むことで、全く違うものができる実感していました。



参加者からは、「もっと聞きたい」「こういう具体的な話が聞けてよかった」「長野でこんな話を聞けるなんて！」「早速実践してみます」といった声があり、皆さんとても満足していたようです。終了後も、岡村さんへの質問の列はなかなか途切れませんでした。



お疲れさまでした！素敵なチラシを作ってくださいね。